

## 論述ブースト No.13

終末期医療・緩和ケアを論じる ―― QOL・本人の意思・家族支援を3軸で整理する

## 導入文

「緩和ケアは大切だ」という感想で終わる答えは、医学部面接では評価されない。QOL（生活の質）の維持・本人の自己決定権・家族へのグリーフケアという3軸を持つことで、終末期医療の多層的な論点を整理した論証が書けるようになる。

## 講義概要

終末期医療・緩和ケアを「QOLの維持」「本人の自律と事前指示」「家族支援・グリーフケア」の3軸で体系化する。ホスピス・緩和ケア病棟の役割、延命治療の差し控えとリビングウィル、家族の意思決定支援を整理し、医学部小論文・面接で深みのある論証を構築する技術を習得する。

**授業目標：**終末期医療論述を感想から、QOL・自律・家族支援の3軸による論証へ変える。

**対象者：**高2～高3・浪人生。医学部・医療系の総合型選抜・推薦入試で、終末期医療・緩和ケアテーマの小論文・面接に備えたい生徒。

**授業時間：**授業90分＋演習・質疑応答30分

**到達目標：**QOLの概念を医療の文脈で説明できる／リビングウィル・事前指示の意義と限界を論じられる／家族支援・グリーフケアを論点に組み込める

## 授業構成（90分）＋演習・質疑応答（30分）

**授業90分：**1 導入：感想で終わる答えと3軸の論証を比較 2 QOL軸：身体・心理・社会・スピリチュアルの4次元で整理 3 自律軸：リビングウィル・事前指示書・延命治療の差し控え 4 家族軸：家族の意思決定支援とグリーフケアの意義 5 緩和ケアの役割：治癒不可能な段階からの支援として整理 6 演習：「終末期医療において医師に何ができるか」を3軸で論じる 7 まとめ：「QOL・自律・家族」の3軸で骨子を先に作る習慣

**追加30分：**「延命治療を差し控える判断をどう支えるか」を3軸で300字論述する演習と質疑応答を行う。

**板書・スライド骨子：**QOLの4次元定義／リビングウィル・事前指示の整理／グリーフケアの概念／3軸の論証骨子テンプレート

**課題：**「緩和ケアにおける医師の役割」をQOL・本人の自律・家族支援の3軸を使って300字で論じる。

**備考：**高校・予備校の先生方／編入学試験および大学院受験への橋渡し的な基礎確認をしたい方にも対応。